

## 西部地区再整備事業に関する今後の予定について

## 1 都市建設部の体制強化について

## 【今後の予定】

## （「函館市西部まちぐらしデザイン室」の体制強化について）

西部地区再整備事業の本格化に伴い、「函館市西部まちぐらしデザイン室」に専任の西部地区再整備担当次長を令和3年4月1日付で配置する。

《新たな西部まちぐらしデザイン室の体制》

室長 … 西部地区再整備担当次長（専任）

※これまで都市建設部次長が兼務

室次長 … 景観政策担当課長

主査 … 3名

担当 … 2名

## 2 共創のまちぐらし推進プロジェクトについて

## 【今後の予定】

## （「仮称」西部地区まちぐらしシンポジウムの開催）

○日時：令和3年6月下旬

○場所：五島軒本店（予定）

○内容：（仮称）西部地区再整備会社の設立時期に合わせ、まちづくり参加意欲の醸成の機会および今後の西部地区のまちづくりについての提言等を市民と共有することを目的とした市主催による「（仮称）西部地区まちぐらしシンポジウム」を開催する予定。

## （共創のまちぐらし推進プロジェクトについて）

○「まちぐらし事業」の検討・実施・検証および「まちを学ぶ場の提供」の実施  
※公共空間活用事業（元町公園など）、旧北海道庁函館支庁庁舎を活用した勉強会の開催など

## （共創のまちぐらし活動）

下記「共創学会」等との連携について（※別紙資料参照）

参考：（共創のまちぐらし活動「共創学会の開催」）

## 【今後の予定】

○本年12月に第5回共創学会年次大会が本市・函館で予定され、本大会に向けて、大会主催チームが主体となり、共創学研究会として3つの共創テーマに沿って活動し、本大会時に活動の経過や成果を報告する予定。

## （共創学研究会）

第11回共創学研究会（3月～）

下記3つの共創活動を行い、12月開催予定の年次大会で活動の経過や成果を報告。

- ・共創ワークショップA：共創のまちをつくる仕掛けをつくる
- ・共創ワークショップB：障害者と健常者が共奏する暮らしや活動をつくる
- ・共創ワークショップC：集合住宅と地域が連携する住まい方をつくる

## （共創学会年次大会）

第5回共創学会年次大会函館開催（12月予定）

### 3 町会活性化プロジェクトについて

#### 【今後の予定】

##### (新たな人材との協働による町会活性化の推進)

○新たな人材との協働による町会活性化の推進として、モデル町会と市職員や、学生等の新たな人材との協働による町会活性化のためのプロジェクトの実施等。

##### (新たな人材・担い手)

○人生の学び舎「荘」プロジェクト関係者（代表 下沢杏奈氏）

※旧野口梅吉商店「わらじ荘」、弁天町：旧西浜旅館「みなも荘」、谷地頭：旧中国茶屋「きらく荘」に居住し、「荘」を拠点に様々なまちづくり活動を展開。

##### (弁天町会をモデル町会とした町会活性化プロジェクト)

○「弁天町会館を活用」し、「町民の交流を促進する」事業を優先。

○年代は、子供の健全な育成や子育て世代（両親）の地域交流を優先し選定。

○事業内容は、単発的なイベントではなく、住民交流促進の趣旨から、継続的な開催を検討し、内容を検証しながら中・長期的な取り組みとして継続。

○現時点でのアイデア案としては、

- ・町会役員（育成部会）への加入
- ・町会の取り組みなどの可視化
- ・町会館を活用した取り組み など